

# 練馬区障害者基礎調査 報告書

平成26年（2014年）3月

練馬区

# 目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査時期	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	主な調査項目	2
7	報告書を利用するにあたって	3
II	調査結果のまとめ	4
III	調査結果の詳細	8
1	基本属性	8
(1)	性別	8
(2)	年齢	8
(3)	調査票の記入者	9
(4)	居住形態、施設入所年数（施設入所者のみ）	9
(5)	同居者（複数回答）	10
(6)	収入源（複数回答）	10
(7)	障害の程度	11
(8)	障害の種類等	12
(9)	手帳を取得した年齢、精神疾患・難病の発症年齢等	14
(10)	障害程度区分認定の状況	14
(11)	発達障害、高次脳機能障害、難病等の診断状況（複数回答）	15
2	介助・援助の状況について	16
(1)	主な介助・援助者	16
(2)	介助・援助の内容（複数回答）	17
(3)	介助・援助者が不在のときに希望する対応（複数回答）	20
(4)	必要とする介助・援助の有無	22
(5)	必要だが受けていない介助・援助（自由回答）	25
3	日中の過ごし方について	26
4	教育について	29
(1)	通園・通学先	29
(2)	通園・通学に際し充実してほしいこと（複数回答）	29
5	雇用・就労について	30
(1)	就労形態	30
(2)	職場の所在地	35
(3)	1年間の就労収入	36
(4)	仕事をする上での不安や不満（複数回答）	37
(5)	今後の就労意向	42
(6)	働いていない理由（複数回答）	48
(7)	働きたいが働けない理由（自由回答）（施設入所者のみ）	51
(8)	働くために整っていることが大切だと思う環境（複数回答）	51
6	外出や社会参加の状況について	56
(1)	外出の際に困っていること（複数回答）	56
(2)	今後してみたい活動（複数回答）	60
(3)	活動に参加するために必要な支援（複数回答）	60

7	健康状況や医療について	63
	(1) かかりつけ医の有無	63
	(2) 医療の受診形態	63
	(3) 入院歴の有無と入院期間	64
	(4) 通院する際の介助の必要性（難病患者のみ）	66
	(5) 健康管理や医療で困ったことや不便に感じたこと（複数回答）	67
8	相談や情報の入手について	71
	(1) 悩みごとや心配ごとがあるときの家族や親せき以外の相談先（複数回答）	71
	(2) 家族・親戚以外に相談するために必要な体制（自由回答）	75
	(3) 福祉サービスなどの情報の入手先（複数回答）	76
	(4) 福祉サービスの情報提供を充実するために区がすべきこと（自由回答）	81
	(5) コミュニケーション手段（身体障害者のみ）	82
9	福祉サービスについて	84
	(1) 最近1年間に利用した福祉サービス（複数回答）	84
	(2) 必要だと思うサービスの利用状況	88
	(3) 今後も引き続き、あるいは新たに利用したいと思う福祉サービス（複数回答）	93
	(4) 最近1年間に利用した福祉サービスと今後の利用意向（複数回答）	97
	(5) 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと（自由回答）	98
	(6) 今ある福祉サービス以外に必要な福祉サービス・施策（自由回答）（難病患者のみ）	100
10	将来について	101
	(1) 今後の日中の過ごし方（複数回答）	101
	(2) 希望する暮らし方	105
	(3) 練馬区での定住意向	111
11	災害対策について	113
	(1) 最寄りの避難拠点	113
	(2) 災害に備えて準備していること（複数回答）	118
	(3) 災害に備えて必要な対策（複数回答）	121
12	権利擁護について	125
	(1) 差別や人権侵害を受けていると感じること	125
	(2) 地域での障害に対する理解の感じ方	129
	(3) 障害および障害者への区民の理解を深めるために必要なこと（複数回答）	134
	(4) 成年後見制度	137
13	障害者施策全般について	144
	(1) 障害者施策を充実するために必要なこと（複数回答）	144
	(2) 意見・要望（自由回答）	149
14	介助・援助者の意向	152
	(1) 介助・援助するにあたって困っていること（複数回答）	152
	(2) 将来、本人に暮らしてほしい場所	155
	(3) 地域で暮らすことの可能性と地域で暮らすための支援や環境（施設入所者のみ）	158
	(4) 介助・援助者の意向（自由回答）	161